

平成30年度 第1回東北森林管理局保護林管理委員会  
概要

1. 日時及び場所

平成30年5月29日（火曜日）13時30分～15時30分

東北森林管理局 4階第3会議室

2. 議題

- ・ 朝日山地森林生態系保護地域部会の設置等について
- ・ 生物群集保護林の地帯区分について
- ・ その他

3. 議事概要

(1) 朝日山地森林生態系保護地域部会の設置等について

朝日山地森林生態系保護地域管理委員会（以下「朝日委員会」という。）の保護林管理委員会の部会への再編及び朝日山地森林生態系保護地域モニタリング調査の結果について説明したところ、委員からは次のような発言があった。

- ・ 朝日委員会では、これまで各種の団体等から委員が参加し、広大な森林生態系保護地域を人の利用の観点のみならず、生物、生態系を含めてうまく活用して適切に保護してきたところであり、今般、これまでの朝日委員会の機能を保護林管理委員会の部会に引き継ぐことは非常に効果的であり、今後は、本委員会と部会の密接な連携が重要となる。

(2) 生物群集保護林の地帯区分について

生物群集保護林の地帯区分（案）について意見を求めたところ、委員からは次のような意見があった。

- ・ 和賀岳生物群集保護林の保存地区については、北側の小班界に沿って区域を拡大し、ウラジロヨウラク－ミヤマナラ群団全体を含めるべき。

(3) その他

早池峰山周辺における各種モニタリング調査等の結果、保護林管理方針書案及びモニタリング調査結果のウェブサイトへの公表案について説明したところ、委員からは次のような発言があった。

- ・ 早池峰山周辺において自然植生にシカ被害が発生していることは脅威であり、捕獲が重要と思われるが、雪が深い東北において、狩猟を支援するための林道除雪が捕獲の効率化に有効な場所があることは興味深い。
- ・ モニタリング調査結果の公表に当たっては、図面も表示するなど、可能な限り分かりやすくなるよう工夫すべき。